

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和元年 7月19日号

鳥栖市立麓小学校

校長 西川 哲也

TEL 0942-83-2013

<http://cms.saga-ed.jp/hp/fumoto-e/>



夏こそ体験を



いよいよ夏休み

遠足や避難訓練、日曜参観、水泳大会など様々な行事が行われた1学期も、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のおかげで無事終えることができました。

明日から始まる夏休みでもまた、子供たちが安全で健康的な生活を送れますようにご支援くださいますようお願いいたします。

夏休みは、子供たちがいろいろな体験活動を行う絶好の機会です。山に登ったり海で泳いだりすることで、自然の美しさを発見したり、自信や満足感を味わったりできることでしょう。また、どこかに行くばかりではなく、ものを作る、何かの課題について調べる、スポーツに励む、料理をする、動植物を育てる、遊ぶなど、日常の中でも多くの体験ができます。そういった体験の中から、子供たちは考える力や判断力、学び方等を身に付けることができます。そして同時に、知的好奇心を高めたり、成就感を味わったりしながら感性を高めていきます。

日頃、お子様との時間がなかなかとれないというご家庭でも、夏休みは一緒に過ごす時間が増えることと思います。長い休みにしかできないようなことを、ぜひご家族で体験させ、団らんを深めていただけたらと思います。

着衣泳を行いました(1・3・5年)



1年生
ペットボトルで浮きました



3年生
泳ぎにくさを味わいました



5年生
日本赤十字社の方の指導

水の事故の多くは、海や川や湖に何らかの理由で服を着たまま落ちてしまい、溺れて命を失ってしまうケースだといわれます。もし子供たちが、そんな事故に遭遇した場合、どうすれば溺れずに助かることができるかを知っておくことはとても大切です。そこで、麓小学校では毎年1・3・5年生を対象に着衣泳を実施しています。

今年は、7/12に1年生と5年生が7/18に3年生が行いました。いずれも服を着たまま水に入ったときにどれだけ動きにくい、また水の中で救助を待つ場合どうすれば長い時間浮いておくことができるかなどについて、様々な体験を交えながら、自分の命を守る学習を行いました。5年生の着衣泳では、日本赤十字社の皆さんからご指導をいただきました。

3年生親子レク(陶芸教室)



松尾先生のご指導で



良い作品ができました



アイデアいっぱい

こちらでも毎年恒例となりました3年生親子レクでの陶芸教室。今年は7/12(金)に行いました。

講師はお馴染み「魚蓮坊窯(ぎょれんぼうがま)」の松尾伊知郎先生です。かれこれ20年程続いているというこの活動ですが、大人も子供も「どんな形の焼き物にしようか」と楽しみながら作品づくりに取り組むことができ、なかなか好評のようです。出来上がった

作品はお皿やコップなど様々ですが、それぞれに思いがこもった逸品が仕上がっていました。作品はしばらく乾燥し素焼き、色付け、本焼きといった手順で完成となります。

松尾先生のご協力に感謝、感謝です。

理科教育啓発講演会(6年生)

6年生では、鳥栖市のM&M理科教育啓発講演会事業の一環として、佐賀大学理工学部から成田貴行准教授にお越しいただき、出前授業をしていただきました。この事業も数年続いているもので理科教育における児童の興味関心を向上させることがねらいとなっています。

今回は、日頃ゲル(ゼリー状の物質)やプラスチックについて研究をされてある成田先生が、簡単な実験やクイズを盛り込みながら、身の周りにある様々な物質の科学的な反応についてお話をされました。授業後、成田先生からは「子供たちの柔軟な発想に、こちらが驚かされました。」とおっしゃっていました。



紙袋に水を入れると
水が…!?

事件・事故予防のために

夏休みは、川遊びや海水浴など家族で出かける計画もあるかと思います。どうぞ万全を期してお出かけください。お子様には、水泳や水遊びに出かけるときには、必ず保護者や水泳の熟練者と同行するようご指導ください。また、事件等に巻き込まれないように行き先や帰宅の予定時刻、同行者を必ず伝えて出かける習慣づけを日頃から行ってください。交通事故にも遭わないよう、再度声掛けをお願いいたします。

